

2024年 10月 21日

長谷エグループ設計協力・施工 2025年日本国際博覧会 石黒 浩テーマ事業プロデューサー 現物提供協賛「いのちの未来」館の建物引渡しを10月17日に完了

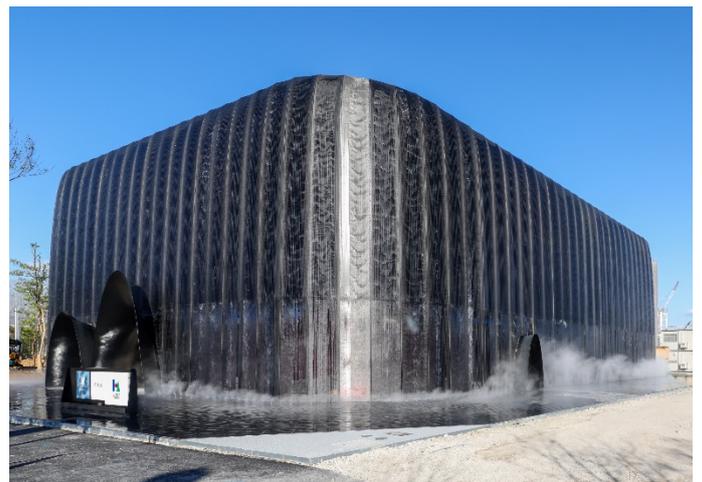
長谷エグループ（代表企業：㈱長谷エコーポレーション、本社：東京都港区 代表取締役社長：池上 一夫）は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）でのテーマ事業「シグネチャーパビリオン(※)」にて石黒 浩テーマ事業プロデューサー（いのちを拓げる）がつくる「いのちの未来」館（以下「本館」という）にプラチナパートナーとして、本館を設計協力・施工する現物提供協賛を進めていましたが、10月17日（木）に2025年日本国際博覧会協会への引渡しを完了いたしました。

～ 屋上から外壁をカスケード状に流れ、循環する「水膜」によるファサードデザイン ～

本館は、万博のテーマである「いのち」の象徴でもあり、無機物と有機物を結びつける「水」に着目し、水景を活かしたデザインとなっています。外装材には「膜」を使い、そこに水が流れる景観となっています。

* 設計については、㈱石本建築事務所（本社：東京都千代田区 社長：長尾昌高）、設計協力㈱長谷エコーポレーション大阪エンジニアリング事業部、施工については、㈱長谷エコーポレーションと長谷エグループの不二建設㈱（本社：東京都港区 社長：船橋 慶一郎）との共同施工（解体他、一部工事は除く）です。

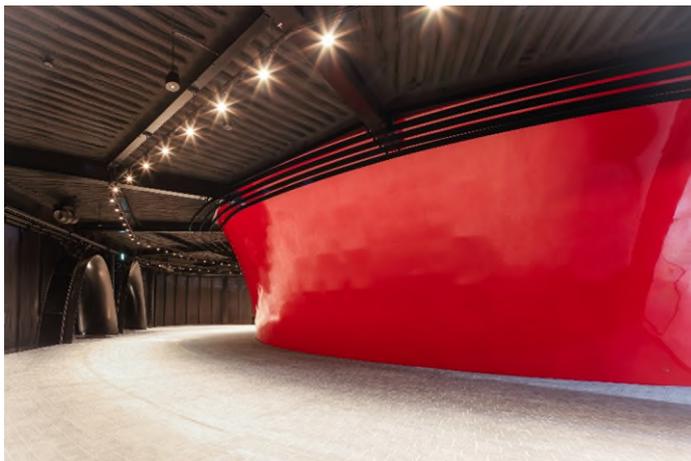
- ◇ パビリオン名： いのちの未来
- ◇ テーマ事業名： 「いのちを拓げる」
- ◇ テーマ事業プロデューサー： 石黒 浩（大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長）
- ◇ パートナークラス： プラチナパートナー



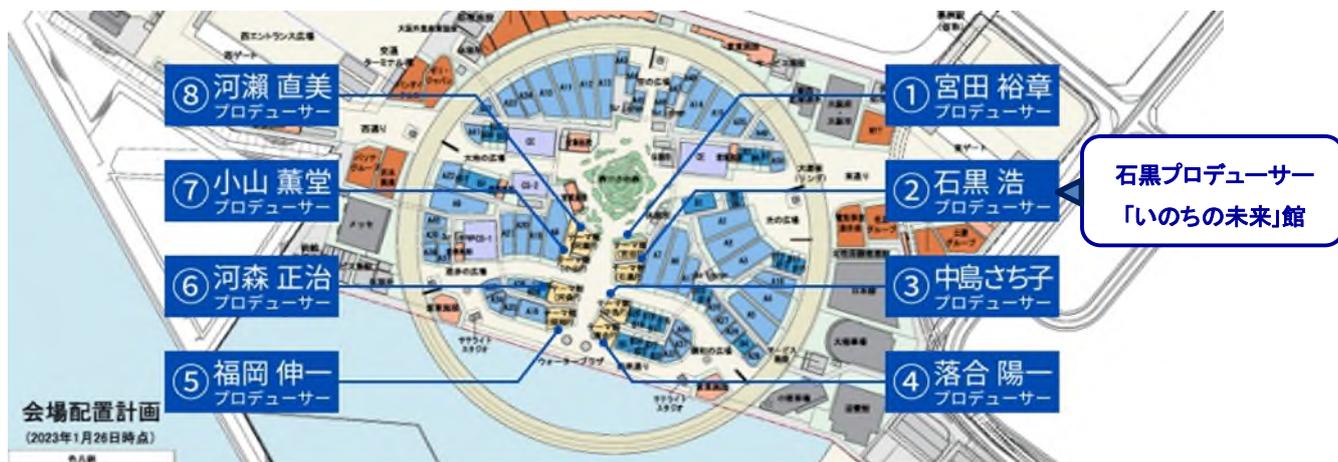
◇シグネチャーパビリオン「いのちの未来」概要

- ・主要構造 鉄骨造 2階建
- ・建築・展示空間ディレクター 遠藤治郎（合同会社 SOIHOUSE 代表）
- ・設計・監理 (株)石本建築事務所
- ・設計協力 (株)長谷エコーポレーション大阪エンジニアリング事業部
- ・施工 (株)長谷エコーポレーション、不二建設(株)

◇ シグネチャーパビリオン「いのちの未来」竣工写真（エントランス内部）



◇ シグネチャーパビリオン「いのちの未来」建設地



会場配置計画 提供：2025年日本国際博覧会協会

(※)「シグネチャーパビリオン」とは
 テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家が作るパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。